



知らなかった ほじょ犬のこと

総務課 宇都宮 千怜

「Welcome！ほじょ犬」とかわいい犬の顔が書かれているシールに思わず反応しました。意識して周りを見てみると様々な場所でほじょ犬のシールが貼ってあり、その下には「法律により盲導犬・介助犬・聴導犬は同伴できます」と記載されています。ふむふむ、少し前までは『補助犬同伴可』というシールを目にした事が多かった様に思うけど…

※これは発行元が違うそうです。(厚生労働省発行と全国盲導犬施設連合会発行)



このシールが貼ってあるお店だけ、補助犬の同伴が可能？

このシールはあくまでも【啓発】の意味をこめてわざわざ貼っているだけで、実際には身体障害者補助犬法という、補助犬の同伴受け入れを義務づける法律があります。そのためシールを貼っていなくても、不特定多数の方が利用する施設や公共交通機関等、一般の方が入れる場所は同伴が可能です。なるほど、補助犬が入れる店です、というシールではなく、何処でも入れるのですね！ですがシールの種類によっては「補助犬同伴可」とあり、『可』という記載が入ってしまうと『補助犬を同伴できるのは、補助犬シールの貼られているお店だけ可能』という誤解を与えてしまうかもしれないなあと思いました。

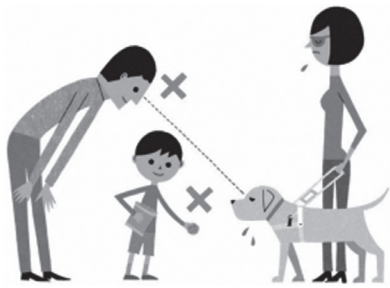
補助犬シール



そもそもほじょ犬(身体障害者補助犬)とは??

目や耳や手足に障害のある人のお手伝いをする犬のことです。ペットではありません。特別な訓練を受けているので、社会のマナーを守れますし、衛生面も管理されています。そのため、公共施設や交通機関、飲食店などいろいろな場所に同伴できます。飲食店でも映画館でも、足元でじっと待てるように訓練されているのだとか…驚きです。

街で補助犬に出逢ったら？



補助犬は外に出たら基本的に仕事なので、

- ・声をかけたり、じっと前から見たり、口笛をならしたりしない。
- ・食べ物を見せたり、あげたりしない。
- ・補助犬をなでたり、ハーネスを触ったりしない。
- ・自分のペットとあいさつさせようと近づけたりしない。

補助犬に出会ったらず、そっと後ろから温かく見守るのが良いそうです。

もし困っているようであれば補助犬ユーザーに『何かお手伝いしましょうか？』と声をかけて下さいとの事です。

犬アレルギーの人はどうすれば良い？

実際に私の子供もアレルギー体質です。レストランなどで、補助犬ユーザーと犬アレルギーの方と一緒にあったときには、どうすれば良いのかな？と思いました。その際は双方の席をできるだけ離すなどの配慮が必要との事です。せっかくの楽しい時間なので、しっかりと知識を持ち、みんなが少しずつ譲り合って尊重しあえたらいいなと思いました。犬アレルギーの原因は「犬のフケや唾液」とされています。基本的にユーザーさんが補助犬のシャンプーやブラッシングを定期的に欠かさずしているので、フケについてはほとんど心配ないそうです。唾液についても、補助犬に直接触れたりせずに一定の距離を保ってれば、大丈夫なのかなと思いました。

電車やお店で補助犬に出会った時、本当にじっと大人しくしているな、と、とても驚いた覚えがあります。そんな補助犬達も、おうちではハーネスを外してリラックスしているそうです。

<https://blog-imgs-115-origin.fc2.com/e//m/elmoblog/ad-stecker.jpg>



戦国時代の人物に 触れてみよう！

ホームガス課 宮本 剛佳

皆さん、こんにちは、日頃よりアポロ興産株式会社、アポロステーションをご利用くださり、ありがとうございます。さて、今回は、戦国時代について、紹介してまいりたいと思います。戦国時代といえば、特に有名なのが織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三名ではないでしょうか。この他にも、この時代には、たくさんの有名な人物が登場して来ます。例えば、甲斐の国（今の山梨県）の武田信玄、美濃の国（今の岐阜県）の明智光秀、出羽の国（今の山形県）の伊達政宗、又、武士ではないのですが、茶人の千利休や、忍者の服部半蔵なども、この時代に活躍します。



まずは、織田信長について、紹介していきたいと思います。

織田信長は尾張の国（今の愛知県）出身で、尾張の大名、織田信秀の子として生まれました。幼名は吉法師と呼ばれ奇抜な振る舞いが多かったため、大うつけなどとも呼ばれていました。

性格は、敵や無能者を激しく恨み、容赦なく叩き潰す激しい人だったと言われてい

ます。このような性格のため最後には明智光秀の裏切りにあい、京都の本能寺で討ち死に

にあいます。この時、織田信長が発した言葉が「人生五十年」と言われ時代劇などにもよく使わ

れます。次に紹介するのは、豊臣秀吉です。

豊臣秀吉も尾張の国（今の愛知県）出身で、農村の下層民の息子として生まれたと

されています。初名は藤吉郎のちに羽柴秀吉と名乗るようになります。性格として、プライベートでは、女好きと言われていたそうですが、合戦になると

慎重派で、敵軍の兵士にも情けをかけるなど、情に厚い面もあったと言われています。

又、豊臣秀吉は「超」がつくほどの派手好きだったらしく、もち運び可能なキンピ

カの花火大会を作ったり、家臣や側室など総勢千三百人を集めての花火大会を開いたりし

たとされています。このような大規模なイベントには飽きたらず、今でいうコスプレパーティーを開いていたとの詳細な記録が残っているというからビックリします。

このように栄華を誇った豊臣秀吉ですが晩年は、朝鮮出兵などで国力を失っていき、

伏見城で死去します。

徳川家康については、又、別の時にご紹介させていただきます。

歴史上の人物を紹介させていただきました。あなたの歴史上の人物で好きな人はいますか？

時間のある時に少しでも歴史について触れてみてはいかがでしょうか。